

新型コロナウイルス既感染者への対応について

2021年6月23日

日本赤十字社 血液事業本部

新型コロナウイルス感染者の対応にかかる経緯

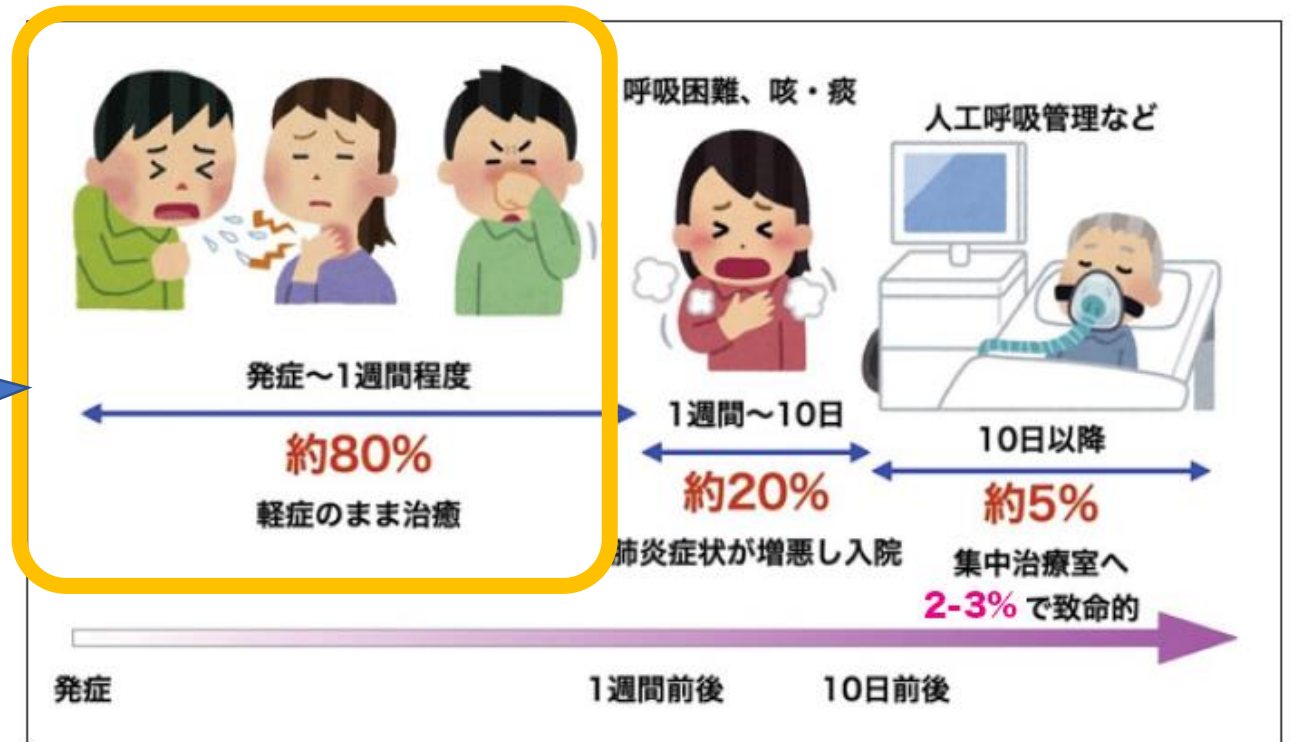
新型コロナウイルスの既感染者には献血をご遠慮いただいている

- 当該ウイルスの流行初期においては、他者への感染リスクに関する評価が十分定まっていなかった
- 同ウイルスの病原体がSARSコロナウイルスの一種であり、平成15年5月20日付医薬血発第0520004号「重症急性呼吸器症候群（SARS）に関するWHO勧告に基づく対応について」において、「SARS患者が、完全に回復した場合においても、当面の措置として当該者から採血を行わないこと。」と定められている
- 献血者や担当職員、献血会場の安全を確保し保持する観点から、より慎重な対応として献血をお断りしてきた

新型コロナウイルス感染者の症状 (献血受入対象者のイメージ)

日赤が主な受入対象として考えているのは、
軽症のまま治癒した感染者*

*重症化した場合であっても、完全に回復し、
治療や通院を要する後遺症等もなく、
健康状態に問題のない方は受け入れ可能と考える



1 新型コロナウイルス感染症について

症状は

発熱や呼吸器症状が1週間前後つづくことが多く、強いだるさ(倦怠感)を訴える方が多くなっています。

重症化するリスク

罹患しても約8割の方は軽症で経過し、治癒する例も多いことが報告されています。一方、重症度は、季節性インフルエンザと比べて死亡リスクが高いことが報告されています。特に、高齢者や基礎疾患のある方では重症化するリスクが高いことも報告されています。

厚生労働省ホームページ

新型コロナウイルス既感染者への対応状況

- 新型コロナウイルス感染により献血をお断りしている方は、献血後情報で判明したもの（462件）、献血受付時に判明したもの（680件）を合計して**2021年5月末現在で1142名にも及ぶ**。
- このうち**約1/3は成分献血の複数回献血者であり**、年間で数千の献血協力が失われている。
- 当該献血者（特に成分献血者）からは、制限の解除後には、また献血に協力したいとのご意見を多数いただいている。
- 当該献血者の中には献血できないことに納得せず、立腹して帰られる方もいる。
- 献血血液による新型コロナウイルス感染は、輸血用血液からの感染報告はなく、また、**既感染者の献血を受け入れている国においても輸血感染の報告がない**。
- なお、諸外国においては、感染後に献血可能になるまでの日数に差があるが（症状消失後14日～180日）、**症状回復後も献血不可としている国はない**。



withコロナの時代を踏まえ、日本においても感染後に症状が回復され、献血が可能な体調である方については、献血受入が可能と考える。

【参考】諸外国における既感染者の献血受入状況

		WHO	欧州 (ECDC)	米国 (FDA)	日赤	韓国 赤十字	香港 赤十字
献血前の確認	体温測定	○	○	○	○	○	おそらく 実施
	新型コロナ関連確認 項目（ポスター等によ る周知含む）	罹患歴 関連症状 濃厚接触	診断（罹患歴） 濃厚接触	診断（罹患歴） 関連症状	検査陽性 医師の診断 関連症状 濃厚接触	診断 関連症状	診断 関連症状
献血延期措置期間	感染と診断され、 PCR陰性後	14日	14日	14日 (PCR陽性で症状な い場合は陽性日から 14日後)	当面	3カ月	回復後180日
	新型コロナ関連症状 消失後	14日	14日	14日	当面	記載なし	回復後180日
	感染者との最終濃厚 接触後	14日	14日	14日	28日	記載なし	28日
献血後情報の対応範囲 (血液センターへ連絡する基準)		献血後14日以 内に発症	献血14日以内の 発症	採血後48時間以内 この発症	献血後28日以内に検 査陽性、感染診断 (疑い含む)、関連 症状発症 濃厚接触後の献血が 判明	献血後14日以内 に発症	献血後28日以 内に発症

新型コロナウイルス既感染者の献血受入基準-1

- 体調不良の無い人の受け入れを大原則とする
- 感染者の退院・職場復帰基準*を参考に対応する

退院・療養解除基準（新型コロナウイルス感染症（COVID-19） 診療の手引き・第5版）

1. 有症状【注1】の場合

- ① 発症日【注2】から10日間経過し、かつ、症状軽快【注3】後72時間経過した場合、退院可とする。
- ② 症状軽快後24時間経過した後、PCR検査または抗原定量検査【注4】で24時間以上間隔を開け、2回の陰性を確認できれば、退院可能とする。

2. 無症状病原体保有者の場合

- ① 検体採取日【注5】から10日間経過した場合、退院可能とする。
- ② 検体採取日から6日間経過後、PCR検査または抗原定量検査【注4】で24時間以上間隔を開け、2回の陰性を確認できれば、退院可能とする。

* 上記の1、2において、10日以上感染性を維持している可能性がある患者（例：重度免疫不全患者）では、地域の感染症科医との相談も考慮する。

【注1】人工呼吸器等による治療を行わなかった場合

【注2】症状が出始めた日とし、発症日が明らかではない場合には、陽性確定に係る検体採取日とする

【注3】解熱剤を使用せずに解熱しており、呼吸器症状が改善傾向である場合をいう

【注4】その他の核酸増幅法を含む

【注5】陽性確定に係る検体採取日とする

【注6】退院後に再度陽性となった事例もあることから、退院・解除後4週間は自ら健康観察を行い、症状が出た場合には、速やかに帰国者・接触者相談センターへ連絡し、その指示に従い、医療機関を受診する。

退院・療養解除基準（新型コロナウイルス感染症（COVID-19） 診療の手引き・第5版） 続き

3. 人工呼吸器等による治療を行った場合

- ① 発症日から15日間経過し、かつ、症状軽快後72時間経過した場合（発症日から20日間経過までは退院後も適切な感染予防策を講じること）
- ② 発症日から20日間経過以前に症状軽快した場合に、症状軽快後24時間経過した後、PCR検査または抗原定量検査で24時間以上をあげ、2回の陰性を確認した場合

生活指導

- 患者が円滑に社会復帰できるよう保健所や近隣の医療機関などと連携する。特に心理的支援の必要性について評価する。
- 再燃や後期合併症の有無など病態には未解明の部分がある。体調不良の場合には適切な医療機関を受診するよう勧める。
- 3密（密閉、密集、密接）を避けるように指導する（3密は1つでもあれば感染のリスクとなるため、リスクを減らすこと）
- 咳嗽が長引く場合は、マスクの着用など、咳エチケットを指導する。

新型コロナウイルス既感染者の献血受入基準-2

諸外国の基準

WHO

- COVID-19：症状消失後14日
- 無症候感染：最後の検査陽性後14日

ECDC

- COVID-19（無症候感染含む）：症状消失後14日または上気道検体のPCR陰性化後
- 抗体検査陽性だが無症候または遺伝子/抗原検査陰性：抗体検査陽性後14日

FDA

- COVID-19：症状消失後14日
- 無症候感染：最後の検査陽性後14日

【参考】諸外国における既感染者の献血受入状況

	WHO	欧州 (ECDC)	米国 (FDA)	日赤	韓国 赤十字	香港 赤十字
献血前の 確認	<ul style="list-style-type: none"> ・ 体温 ・ 関連症状の有無 ・ 罹患歴 ・ 濃厚接触 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 過去14日に発熱(37.5℃以上) なし ・ 関連症状の有無 ・ 診断(罹患)歴 ・ 濃厚接触 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 体温 ・ 診断(罹患)歴 ・ 関連症状の有無 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 体温 ・ コロナ検査陽性 ・ 診断(罹患)歴 ・ 関連症状の有無 ・ 濃厚接触 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 体温 ・ (感染の)診断 ・ 関連症状の有無 	<ul style="list-style-type: none"> ・ (感染の)診断 ・ 関連症状の有無
献血延期措 置期間	<ul style="list-style-type: none"> ・ COVID-19: 症状消失後14日 ・ 無症候感染: 最後の検査陽性後14日 ・ 濃厚接触後: 各国の隔離期間終了後(無症状で最小14日) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ COVID-19(無症候感染含む): 症状消失後14日または上気道検体のPCR陰性化後 ・ 抗体検査陽性だが無症候または遺伝子/抗原検査陰性: 抗体検査陽性後14日 ・ 濃厚接触後: 各国の隔離期間終了後 	<ul style="list-style-type: none"> ・ COVID-19: 症状消失後14日 ・ 無症候感染: 最後の検査陽性後14日 <p>(抗体検査陽性だが無症候または他の検査陰性: 献血可)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ COVID-19: 当面 ・ 無症候感染: 当面 ・ 抗体検査陽性: 当面 ・ 濃厚接触後: 4週間 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 感染後PCR陰性化して3カ月 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 回復後180日
献血後情報 の対応	<ul style="list-style-type: none"> ・ 献血後14日以内に発症または検査陽性となれば連絡 ・ 発症前14日以内もしくは濃厚接触後14日以内に採血した血液は回収 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 献血14日以内に発症したら連絡 ・ 献血後72時間以内に発症した場合、当該製剤を廃棄 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 献血後にCOVID-19と診断された場合は速やかに連絡 ・ 採血後48時間以内に発症またはCOVID-19と診断された血液は回収 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 献血後28日以内に検査陽性、感染診断(疑い含む)、関連症状を発症した及び濃厚接触後の献血が判明した場合に連絡 ・ 有効期間内で未使用の血液は回収 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 献血後14日以内に発症した場合に連絡 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 献血後28日以内に発症した場合に連絡

2021/5/28現在 詳細版

新型コロナウイルス既感染者の献血受入基準-3

(考え方の基準)

治療や通院を要する後遺症等もなく、健康状態に問題のない方を受入対象とする

発症日（無症候の場合は陽性となった検査の検体採取日）から10日間経過し、かつ、症状軽快後72時間経過していることを大前提とする

献血者の安全を最大限考慮する

(既感染者の献血受け入れ基準案)

治療や通院を要する後遺症がなく、健康状態も問題のない方

**症状消失後（無症候の場合は陽性となった検査の検体採取日から）
4週間以上経過していること**